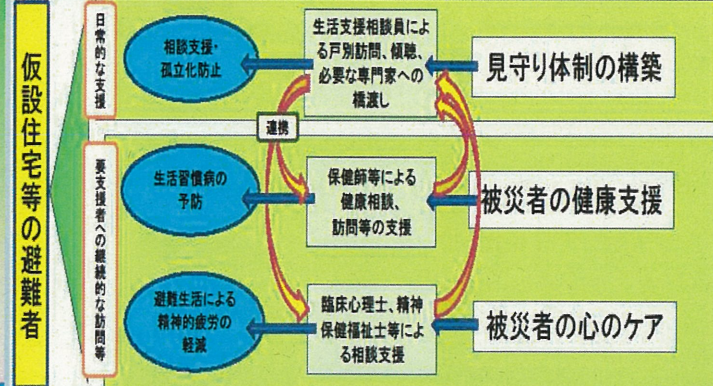


### (1) 復興に向けた心身の健康管理対策の推進

#### 甲状腺検査の様子

県民健康調査事業

- 基本調査 県内居住者(約205万人)を対象に、原発事故発生直後から4か月間の外部被ばく線量を推計する調査
- 甲状腺検査 震災時概ね18歳以下の県民(約38万人)を対象に、超音波診断装置による甲状腺の状態を把握するための検査を実施
- 健康診査 避難区域等の住民等を対象に、年1回健康診査を実施
- ホールボディカウンターによる内部被ばく検査 大気や飲食物等から体内に取り込んだ放射性物質を測定



#### 被災者の心身のケア

- 見守り体制の構築**  
生活支援相談員296名(H29.3.1現在)  
活動実績924,772回(H28.4~H29.3)
- 被災者の健康支援**  
専門職24名、H28活動実績：家庭訪問8,093人  
集団支援11,362人 など
- 心のケアセンター**  
専門職40名(H28.4.1現在)  
活動延べ5,379回(H28.4~H29.3)

### (4) 安心できる子育て環境の整備

子どもにとって身近なところで遊ぶことのできる環境の確保が必要である

虫取りの様子

#### チャレンジふくしま豊かな遊び創造事業

- 子どもたちが、プレーリーダーや地域の大人が見守る中で、空き地などの野外空間を活用して自らの責任で自由に遊ぶことのできる「冒険ひろば」
- 主に未就学児を対象とした自然豊かな環境で、様々な体験ができる「自然遊び」

### (2) 医療提供体制の回復

#### 福島県医師数年代別内訳

年度	医師数(人)	年代別内訳(人)				
		40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成18年	3,816	1,066	996	854	430	470
平成20年	3,905	1,070	981	892	485	477
平成22年	3,880	968	935	936	576	465
平成24年	3,685	826	833	934	626	466
平成26年	3,810	868	740	994	718	490

#### 医師の確保

- 修学資金の貸与**  
県立医科大学 272名(H29.3月末現在)  
(うち1年生48名、在学生224名)  
他に、へき地医療や地域医療への修学資金貸与、周産期医療志望者への修学資金加算を実施
- 県外からの雇用**  
常勤22名、医療支援医師397名  
(H28浜通り医療提供体制強化事業の実績)

#### 医療提供体制の確保

- 警戒区域等医療施設再開支援事業
- ふたば医療センター(仮称)の整備
- 県外から人材確保する浜通りの医療機関への支援
- 【H29新】避難地域の医療再生に向けて236億円を基金積み増し

ふたばリカーレ

#### 看護職員等の確保

- 修学資金の貸与** (H29.3月末現在)  
看護師・助産師等176名、理学療法士等285名
- 高校生や看護学生への就学・就業の促進
- 保健医療従事者養成施設の整備

看護支援ポータルサイト 相双地域病院見学バスツアー

### (5) 福祉サービス提供体制の復旧

#### オンフルール双葉 (H28.4 いわき市仮設で再開)

受診の様子

#### 介護・福祉施設等の整備・災害復旧補助

- 【H29新】避難指示解除地域の高齢者施設への応援職員派遣
- 被害を受けた施設の災害復旧費用の補助  
障がい者福祉施設：52件 3,454,760千円(H29.3月末現在)  
高齢者福祉施設：102件 3,537,293千円(H29.3月末現在)
- 県外に避難した精神障がい者への帰還支援 521人(H29.1月現在)
- 避難している高齢者への支援を行うサポート拠点の運営支援

### (3) 最先端医療体制の整備

#### ふくしま国際医療科学センター 平成28年12月グランドオープン

5つの機能で県民生活の安心安全を確保し、地域社会の復興に貢献

- 県民の健康調査・放射線と健康に関する疫学調査
- 画像等を中心とした最先端の医療機器により早期診断
- 先端医療技術・機器を活用して早期治療
- 医療界と産業界の橋渡しによる、新規治療薬や医療機器などの開発支援
- 人材の確保、教育、育成

### (6) 飲料水及び食品等の安全性の確保

#### 水道水質安全確保事業

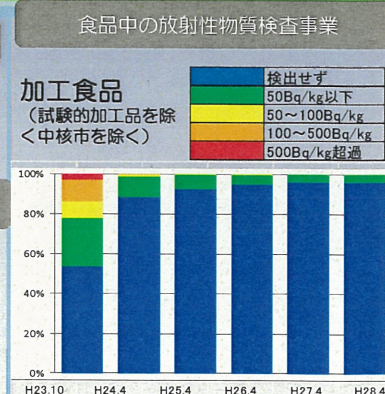
水道水及び飲用井戸水等の放射性物質検査を実施  
H23.5.5以降、検査結果は**全て検出限界値未満**

#### 食品中の放射性物質検査事業(中核市除)

県産農林水産物等を原材料とする加工食品を検査

H26	検査検体数3,609件	基準値超過1件
H27	検査検体数3,737件	基準値超過0件
H28	検査検体数3,611件	基準値超過0件

(上記検査事業以外での基準値超過2件)



### (7) 保健医療福祉の連携体制の構築

#### 地域包括ケアシステム

- 地域包括ケアシステム構築推進事業について、市町村に補助金を交付
- 地域における支援の核となる生活支援コーディネーターの育成支援及び地域ケア会議の活動支援
- 医療と介護の連携のため退院調整ルール策定支援

#### 福祉避難所

- 福祉避難所の指定促進、開設訓練の支援  
(H29.3月末時点 55市町村 384か所指定)



## 基本目標2

全国に誇れる健康長寿の県づくり

心身の健康を維持、増進するための環境づくり推進

### ◆健康長寿ふくしまの推進

#### ○ふくしま【健】民パスポート

- ・市町村連携事業 (25市町村)
- ・ふくしま健民アプリ



#### ふくしま【健】民パスポート

### ◆心の健康づくり対策の推進

- ・電話相談 (延べ342件)
- ・普及啓発 新聞掲載 (テレビ160回、ラジオ128回)
- ・市町村人材育成研修
- ・自殺関連の事業を実施する民間団体への助成 (3団体)

健全な食生活を育むための食育の推進

関係機関、家庭・学校・地域が一体となって食育推進体系を再構築し、「元気なふくしまっ子」が育つ食環境整備を進める。

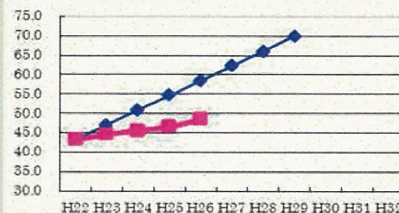
- ・保育所等を対象とした食の指導者育成研修会の開催 (計9回 374人参加)

- ・食育応援企業等におけるスリムアップイベントの開催 (14企業) (計56回 15,975人参加)

- ・第11回食育推進全国大会の開催 ※東北初開催  
日時：平成28年6月11、12日  
場所：ピックパレットふくしま  
来場者数：26,200人  
参加団体：139団体

生活習慣病を予防するための環境づくりの推進

#### 特定健康診査実施率



## 基本目標3

地域医療の再生と最先端医療の推進

安全、安心な医療サービスの確保

#### ○ふくしま国際医療科学センター (再掲)

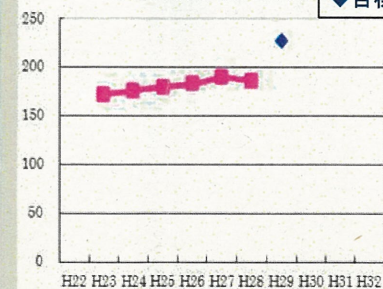
#### ○救急医療体制の充実強化

- ・救命救急センターの設置運営費補助 (3か所)
- ・ドクターヘリの運行
- ・県民に対する医療機関情報の提供
- ・救急医療情報のオンラインネットワークの整備

#### ○在宅医療の推進

- ・在宅医療に必要な医療機器の整備を支援 (57医療機関)
- ・訪問診療車の整備を支援 (16医療機関)
- ・訪問看護人材育成事業 (28名)

#### 在宅療養支援診療所数



血液の確保と医薬品の有効性・安全性の確保

若年層を中心とした献血思想の普及啓発、ボランティア団体の育成及び強化

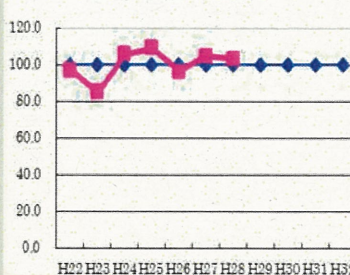
- ・献血量 31,188.40L (目標量30,154L 達成103.4%)
- ・ジュニア献血ポスターコンクールの実施

医療機関に対する血液製剤使用適正化の普及

- ・血液製剤使用に係わる懇談会など

■実績値  
◆目標値

#### 献血量目標達成率



医薬品等製造販売業者・製造業者に対する監視指導 (2,648施設)

## 基本目標4

日本一安心して子どもを生き育てられる環境づくり

社会全体で子育てを支援する仕組みの構築

#### ○子育て支援に関する各種事業

- ・地域の寺子屋 (延べ1,076名参加)
- ・子育て応援パスポート (協賛企業数3,936店舗)

#### ○保育士の人材確保

- ・就職支援相談 515件
- ・修学資金貸付 43人

援助を必要とする子どもや家庭への支援

#### ○ペアレント・プログラムの開催

(委託先 7法人 参加者数(延べ) 690人)

#### ○児童入所施設 (県立施設を除く) 措置費

(児童養護施設 8か所、里親 62世帯)

#### ○母子家庭等就業・自立支援センター事業

(求職相談延べ件数 1,636件、就職者数 79人)

#### ○ひとり親自立支援プログラム策定事業

(策定者数85人、就職者数47人)

次世代の親を育成するための取組

社会全体で独身の男女の出会いを応援する機運を高め、地域・企業を含めたより広い範囲での出会いの場づくりを推進する。

#### 「ふくしま結婚・子育て応援センター」

(平成27年8月開所)

- ・婚活イベントの開催件数 69件
- ・マッチングシステム入会申込件数 967名
- ・世話やき人登録者数 83名
- ・世話やき人相談件数 281件
- ・世話やき人による成婚件数 6組

## 基本目標5

ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進

高齢者を対象とした介護・福祉サービスの充実

#### ○介護と医療の連携

- ・地域包括支援センター職員研修 (地域ケア会議機能強化研修 (基礎・応用) 各1回) 等)
- ・地域リハビリステーション広域支援センターの運営 (6圏域7医療機関) 他

#### ○認知症対策

- ・認知症コールセンター相談 (287件)
- ・かかりつけ医認知症対応力向上研修 (102名参加)
- ・認知症疾患医療センターの設置、運営 (5か所) 他

#### ○介護サービス基盤整備

- ・訪問介護員対象資質向上研修 (新任87名)、テーマ別技術向上研修 (227名) 適正実施研修 (196名)
- ・特別養護老人ホーム等の施設整備 (7法人7施設【開所ベース、増床を含む】) 他

生活に希望を持ち、自らの能力を発揮できる社会づくりの推進

#### 高齢者や障がい者の社会参加推進。

- ・第24回すこやか福島ねんりんピック(会場 会津若松市)

- ・第26回福島県シルバー美術展 (会場 福島市)

- ・第54回福島県障がい者総合体育大会 (会場 福島市)

- ・障がい者スポーツ教室の開催 (種別別教室 96回、運動導入教室 49回)

地域生活移行や就労支援など障がい者の自立支援

障がい者の地域生活移行及び定着を支援するとともに、関係機関の連携の下、地域生活の定着を支援。就労の促進については、労働局と連携し、職場生活と日常生活の両面から支援。

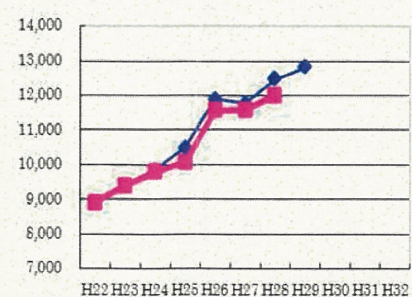
#### ○地域生活移行支援

- ・県自立支援協議会 (2回開催)
- ・市町村等の地域の自立支援協議会への委員派遣 (6回) 等

#### ○就労の促進

- ・授産事業支援センター事業への支援
- ・障がい者就業・生活支援センターの設置・運営支援 (6か所)

#### 特別養護老人ホームの定員数



■実績値  
◆目標値

## 基本目標6

誰もが安全で安心できる生活の確保

災害時の保健医療福祉体制の強化

#### ○福祉避難所の指定促進 (再掲)

#### ○災害派遣福祉チーム (福祉・介護専門職) の派遣体制整備

#### ○災害医療コーディネーターや災害派遣医療チーム (DMAT) の養成研修等

#### ○災害派遣精神医療チーム (DPAT) の体制整備

人と動物の調和ある共生

動物の愛護や犬猫の飼い主に対する適正飼養の啓発事業を実施。

- ・動物愛護週間事業・しつけ方教室
- ・小学校への獣医師派遣事業 など



食の安全・安心の確保

食品製造施設や食品販売施設等に対する監視指導

- ・食品中の残留農薬検査 (133検体)
- ・食品添加物の適正使用取締り強化 (641検体)
- ・食品の病原微生物・有害化学物質検査 (腸炎ビブリオ、貝毒や米のカドミウム等 76検体)